



湖西線の並行在来線の 経営分離は、認めません！

並行在来線とは…

並行在来線とは、整備新幹線区間を並行する形で運行する在来線鉄道のことです。

整備新幹線に加えて並行在来線を経営することは営業主体であるJRにとって過重な負担となる場合があるため、**沿線全ての道府県および市町村から同意を得た上で**、整備新幹線の開業時に経営分離されることとなっています。

(国土交通省ホームページより)

北陸新幹線の敦賀以西延伸ルートについて、12月14日、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの検討委員会において、「小浜・京都案」を適切とする中間報告をまとめられたため、湖西線がJRから経営分離されるのではないかとメディアに取り上げられています。

一般的に、経営分離されると第3セクターが運営することになり、本数の減少や料金の値上げなどが懸念されています。

経営分離は自治体の意向が前提

北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会が平成28年12月14日に提出した「与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームへの中間報告(案)」では次のように記載されています。

(前略) また、並行在来線の取り扱いは関係地方自治体の関心事項であり、**新幹線が通らない県内の在来線の経営分離は現在の自治体の意向を前提とすべきものである。**
(一部抜粋)

このように並行在来線の問題は、沿線自治体の同意が必要とされています。

市長コメント

北陸新幹線の敦賀以西ルートについて、今後のスケジュールも含めました対応等につきましては承知しておりませんが、これまでのルート決定に至る議論の中で、湖西線が並行在来線として経営分離の検討対象となる可能性が伝えられ、多くの市民の皆様からも心配の声が寄せられています。

経営分離については沿線自治体の同意が必要とされており、高島市といたしましては県外ルートが決定された中での極めて理不尽な議論であります。**断固として認めることはできないものでありますので、ご安心ください。**